

インド文化研修レポート

1 プログラム全体について

インドについてからは驚きの連続だった。バスに乗って宿舎までを移動する間には夜遅くだったにもかかわらず、多くの車やオートで込み合っており、クラクションを鳴らさない車はいないという状態だった。少しでも車間距離が取れると隣から車がやってくるというところがとても怖かった。インドの人は、車が大量に通っていても自分は絶対に轢かれないという自信があるのか、平気な顔をして道路を横断しているのが信じられなかった。

また、出かけている最中に、物乞いの子どもたちが近づいて来るのは胸が痛くなった。何も力になれない自分も申し訳なくなり、手助けのできることは何もないのだと思い知らされた。

日本は宗教にとらわれず生活している人がたくさんいる。しかし、インドでは宗教が人々の中心にあり、生活する中で欠かせないものというところが大きな違いだと思った。インドに行く前は、2週間無事に過ごすことができるのだろうか等、不安は多々あった。

しかし実際は、VPMの先生方、ボランティアの方たちに多くの歓迎を受け、毎日楽しく過ごすことができた。少しでもわからないことがあったら、私たちが分かるように説明してくれ、食事に関しても毎回おいしいか、辛くないかと気にかけてくれた。毎日いろんな学部に来て行っていただき、そこでも毎回学部によって違う歓迎を受けた。今回、いろんなものを拝見し、インド経済の説明、文字の書き取りを習う等、2週間のプログラムで学ぶことはたくさんあった。あまりイメージの湧かないインドの教育、言語、習慣など自分がインドに行く前にした勉強はあまりにも少なく、勉強不足が目立ってしまった。

しかし、行って学んだことは絶対に忘れない。もし、このプログラムがなければインドに行くことはなかったと思う。自分の目で見たものは何に変えられるのでもなく、今回の研修はとても貴重な体験となり、大学生活の中で一番いい思い出となった。

2 ヨーガのクラス

平日の朝から1時間ヨガをするのは大変だった。先生はとても優しく、日本語で説明をしてくれることもあった。実演もして下さり、私たちが取り組みやすいようにして下さった。ヨガは体幹を鍛えるというイメージを持っていて、ゆっくり行うものだと考えていた。実際にやってみると、とても難しく、取り組むのに必死で朝から疲れがたまった。しかし、日本ではやってみようと思うことも少なく、あまりできない経験だったので、良い思い出となった。

3 ヒンディー語のクラス

はじめてヒンディー語を勉強し、書いたこともない字を覚えるのは難しかった。子音・母音から教えていただき、言葉の意味や発音を私たちが分かりやすいように説明してもらえた。しかし、私にはインドの方が発する音が習った音と違って聞こえたり、違うように発音しても現地の人からすると間違っているようで、発音を習得するには苦労した。母音が日本よりも多い分、多くの違いがあるようだったが、それを習得するには2週間は短いと感じた。しかし、簡単な挨拶や動詞等も習うことができ、現地の言葉に触れることができるのにとっても面白みを感じた。はじめての言語を学ぶことの楽しさを知ることができた。

4 英語のクラス

先生の話す言葉が早くてついていくのは大変だった。楽しませようとしてくれる努力はすごく伝わったのだが、私の力量不足で先生たちのすべての言葉を理解できなかったのは申し訳なかった。

みんなが楽しめるようにといろいろなゲームを用意してくれて、私たちに授業を楽しんでもらおうとしてくれる気持ちがとてもうれしかった。

日本人と会話をする時、必ずと言っていいほど日本語を使う。そのため、日本人同士で英語を喋るとき照れくさくなり、文法が間違っていないか、この言葉であっているのだろうかという不安が募り、喋ることが少なくなってしまう。英語を学ぶという事は、国を超えて会話をするという事だと思うので、照れずに話すことは大切だと思った。また、こっちが話そうとすると、インドの方たちは理解しようと努めてくれるので、そのことをありがたく思うと同時に自分たちも話している会話をきちんと理解しなければならないと思う。

歓迎会の時でも、インドの子どもたちは照れていたが喋りかけると嬉しそうに応えてくれて、こっちにも質問をしてくれる。自分が知らないことが多すぎるのが壁を作る大きな原因となっているがそれを超えるためには、まず自分が思ったことをきちんと相手に伝える努力をしなくてはならないと思った。

最後にボランティアの人たちも交えて晩御飯を食べた時、日本人はシャイだからと言う話をしてとても痛感した。自分の気持ちを伝えることができるのは自分だけなので、これから社会に出ていくときも、日本語にしろ英語にしろはっきりもの言える人にならなければならないと感じた。

5 インド経済の授業

いままで経済に関して勉強したことがほとんどなかったので理解できるか不安だった。しかし、先生がスライドを通して私たちにレクチャーしてくれたので、分かりやすかった。また、英語を日本語翻訳してくれていたのも、読み取ることもできた。アメリカ

カや日本との比較もあったので、今自分たちがどんな状況に置かれているのかもよく知ることができた。インドの平均年齢は25歳ととても若く、一人っ子政策をとっているというところに驚いた。あと数年すればインドが世界の人口でトップになると言われているが、今はその途中段階にあるというところに圧倒した。今、インドの識字率がだいぶ上がってきているが、田舎の方ではまだまだ字の書けない人がいる。経済の格差も関係してきていると思うので、多くの人が活躍できる国になればいいと思った。

6 Cultural exchange programs

毎日、いろんな学部を訪ねてきて楽しかった。どの学部も歓迎のパフォーマンスをしてくれてどれも魅力的だった。

7 遠足

N a s h i k

大きな岩を何か所もくり抜き作った部屋で生活していたことにびっくりした。今でもその部屋が残っていて、私たちが見学するには短い時間だった。たくさんの仏像が彫られていたのを見て、仏教徒の信仰深さが伺えたと思う。大きな部屋は真っ暗で、その場所で生活していたのかと思うと不安だったのではなかったのだろうかと思った。

M u m b a i

最初に見たイギリス皇太子を迎えるために建てられたインド門はとても大きかった。雨が降っていたので、晴れているときに行ってみたいと思った。午後は、ガンジーの家にも行き、蝋人形で作られたガンジーの人生で起こったことが再現されていて面白かった。ガンジーがインドにどんな影響をもたらしたかを事前に勉強できていなかった為、もっと勉強してくるべきだと思った。インドの国旗に糸車が用いられている理由や多くの資料があったため、学ぶことも多く、行けてよかったと思う。

8 ボランティアについて

2週間どこに行くときも必ず誰かがついてきてくれて、彼らにとっても助けられた。今回のプログラムでは日本語のできるボランティアもいて、日本語で私たちをサポートしてくれた。朝、学校に向かうバスでも宿舎にボランティアの子たちが来てくれ、一緒に登校するところから、宿舎に帰る時までずっと一緒にいてくれたのがおもてなしの心が強いのだろうと思った。授業は隣の席に座ってくれて、発音の練習や言葉の意味、挨拶の練習等に参加してくれた。授業だけではなく、遠足や買い物の時にも必ずついてきてくれて、私たちの要望を聞き入れてくれた。年齢も近いことからいろんな話をすることができ、日に日に打ち解けることができてもっとボランティアの人たちと過ごしたいと

いう気持ちが強くなり、帰国するのが惜しくなった。言葉もゆっくりしゃべってくれる人が多く、コミュニケーションを取りやすいようにしてくれた。

インドの研修が終わってからも連絡を取り合っている人がいるので、これからも交流を深めていきたいと思う。

9 今後の文化交流について

学校のプログラムとして行くことで、学ぶことが中心で面白かった。2週間しかない中で、毎日勉強・歓迎会など盛りだくさんで楽しく取り組むことができた。行ってみたいが行かないという思いは後から後悔すると思う。インドに行って現地の人たちと一緒に授業を受け、ご飯を食べ、遠足に行く等と言った経験はそうできるものでもない。インドのボランティアの人たちと仲良く慣れたことももちろん、日本から一緒に行った人たちとの出会いも大切だと感じた。年々、新しく出会う人も少なくなり、今回は人という面で得たものが多かったと思う。

来年度以降も、言語を学んだり、文化に触れたりと多くのことを学べるプログラムが続くことを願っている。

10 その他

インドに行く前にインドに行くメンバーと仲良くなるべきだと思う。一緒に2週間過ごすことになるので先に仲良くなっておき、インドに行ったときお互いが支え合えるようになるべきだと感じた。インドの人たちともっと交流を深めるためにもインドに行ったら現地の人たちと仲良くなることに専念した方がいいと私は思う。また、恥ずかしがらずに英語でしゃべることに挑戦していくべきだと感じた。せっかくのチャンスであり、この一度きりのチャンスをどう活かすかは自分次第になる。日本人と戯れるだけではもったいないのではないだろうか。

ヒンディー語の授業があるので、先生が事前に教えてくれる文字や自分の名前は書けた方がいいのかなと思った。

また、インドの人たちは多くのパフォーマンスを披露してくれる。自分たちは何もやらないという状況にはならないので何かしら日本で考えておくのも大切だと思う。

また、買い物がしたいと思うなら事前に言うておくべきだと思う。インドについては学校と宿舎の往復になるので買い物の時間をつくることは難しくなる。